

2019年度3学期[2019年11月27日(水)～2020年3月12日(金)冬休み12月15日(土)～1月13日(月)]聴講のための授業科目のご案内

曜日	科目名	講師・教師	授 業 内 容
火曜日	ギリシャ語釈義① (統語)	小澤和男師	ギリシャ語の初級文法を学んだ学生は、新約聖書の原文にあたりながらダナ・マンティの中級文法書を用いて、より深くより正しく読む知識を積み重ねていきます。
	キリスト教会史③	菜花和男師	過去に目を閉ざす者は現在に盲目となる”ヴァイツェッカー。三学期は近・現代です。教理にも注目します。テキストは、井上政巳監修「キリスト教2000年史」(いのちのことば社、2000年)。
	エレミヤ書	松元潤師	神に背き続けるイスラエルの民が捕らわれの身に堕ちていく時代に生きたエレミヤが、神の預言者として、神のさばきと赦しを語りつつ、神の命令に従って行動したことの経験を通して、神の不変の愛と真実を知ること。
水曜日	ヘブル語文法①	松元 潤師	旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。初めての方は「今学期」からご参加ください。
	牧会書簡 (テモテへの手紙)	吉永光生師	牧会書簡と言われるパウロの手紙の中から、特にテモテへの手紙に焦点を当てて学びます。牧会者のあり方や牧会上の問題に、導きと解決の光を与えるこの手紙について、みことばに丁寧に聞きながらその光を探ります。
	旧約聖書通論③	吉田浩二師	通年)創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
	ヘブル語釈義①	松元潤師	文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。
	ヨハネ書簡	木村恵一師	御救いにより私達が豊かに与っている恵みと特権を、この書簡を通して味わってまいりましょう。
木曜日	人間・罪論①	松元ハンナ師	聖書の示す人間観を学びます。神に似た者として造られた人間でありながら、神との交わりを拒み、歪曲している罪の問題を組織神学の視点から捉え、人間とは何者なのかを共に考えます。
	神論(全15週) 2学期10週 3学期5週	吉永 光生師	全15回の学びになります。(聴講希望される方は来年度にお願いいたします。) 聖書から、神がどのようなお方で(神の属性、近さと遠さ、三位一体等)、何をなさる/なさったお方か(計画、創造、摂理等)を学びます。教理的知識なしに霊的健全さを保つことはできませんが、単なる知識を身に付けるのではなく、神に仕え、神を喜ぶことを目指します。
	聖霊論	水草修治師	このクラスでは、聖書から、第一に聖霊はどなたかということ、第二に聖霊のみわざを、教理体系・教会史を意識しつつ学ぶ予定です。また、聖書理解について今日的課題をいくつか扱います。
金曜日	聖書地理	吉田麻希子師	聖書の時代のイスラエルの地理や文化を学ぶことを通して、より聖書を立体的に理解することを目標とします。参考書として、ニック・ページ「バイブルワールド」(いのちのことば社、1600円+税)を用いますのでご用意下さい。
	創世記	M.ヴィッドマー師	創世記はユダヤ教、キリスト教信仰両方の土台となる書物である。講義では、古代近東の文脈における創世記を概観し、多神教国家、近代日本に生きる私達へのメッセージを考察する。
	新約聖書緒論	杉本 潤師	「新約聖書が27巻に至った歴史を見、本文 批評やギリシャ語の構造分析を通して新約聖書を神のことばとして正しく受け取る方法を学びます。(初級ギリシャ語文法を習得した人が履修できます。)
土曜日	新約聖書通論③	吉田麻希子師	通年)新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	ヘブル語釈義③	松元潤師	文法を学んだ方が受講できます。神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。  
(聴講願書は、同封いたしましたが、足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)  
複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。